

事務事業実績測定調書

R4調書番号 024

事務事業名称	基幹管路整備事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	上下水道部			課	上水道工務課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4			R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標		1.災害に対する備えができているまち									
	実行計画名		1-3.水施策の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	水道法、水道施設の技術的基準を定める省令				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	水道を利用している市民			
	サブターゲット	水道を利用している事業者			
	ターゲットが抱える課題	導水管・送水管・配水本管の老朽化や地震等の災害発生の影響による管路破損に伴う断水や水濁りの影響を受ける。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安全で安心な水道水の使用ができ、地震等の災害時でも途切れることなく安定的に水道水が供給されている状態。				
事業概要	導水管・送水管・配水本管の新設や更新・耐震化により豊富で安定した水道水を途切れることなく供給する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		安定的に水道水が供給される。				基幹管路が整備される。				枚方市水道施設整備基本計画に基づいて工事を実施する。			
指標設定	指標説明	管路事故件数(断減水の影響が100戸を超えるもの)				基幹管路の耐震化率 【算出式:基幹管路耐震管延長/ 市内基幹管路延長×100】				建設改良工事に係る発注執行率 【算出式:発注件数/事業予定件数×100】			
		単位		件	単位		%	単位		%			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	0	0	0	0	32	32.60	32.80	32.90	100	100	100	100
実績	0	0	0		33.30	34	34.50		100	100	100		
達成度	100%				105%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	3.85
再任用	0.18
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	19,946	24,317	30,983		
	会計年度任用職員	726	721	720		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	20,672	25,038	31,703		
	物件費計	64,936	428,386	542,832	947,677	57.3%
	歳出計	85,608	453,424	574,535		
歳入	国庫支出金	0	16,479	16,987	16,987	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	266,000	335,200	371,000	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	282,479	352,187	387,987	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	64,936	145,907	190,645	559,690	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については、予定通り実施できている。工事発注手続きについては、工期の複数年設定を可能とする予算措置により発注時期の平準化等に取り組み予定通り事業の発注を行うことができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、発注時期の平準化や工期の複数年度設定を活用し、円滑な基幹管路の整備・更新に取り組む。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 647

事務事業名称	配水支管整備事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	上下水道部			課	上水道工務課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち									
	実行計画名	26-2.上水道及び生活排水の適正処理の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	水道法、水道施設の技術的基準を定める省令				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	老朽配水支管及び鉛製給水管を使用している市民			
	サブターゲット	老朽配水支管及び鉛製給水管を使用している事業者			
	ターゲットが抱える課題	配水支管及び給水管の老朽化に伴う漏水や水質への懸念。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	配水支管の更新及び鉛製給水管の解消によって、安全で安定的に水道水の使用ができています。				
事業概要	水質の安定と漏水の防止のため、老朽配水支管を耐震管に布設替えするとともに、鉛管を使用している給水管をポリエチレン管(PE)に取り換える。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
	安全で安定的に水道水の使用ができる。	配水支管が更新され鉛製給水管が解消される。				配水支管の布設替え及び給水管の取換工事を実施する。								
指標設定	指標説明	管路事故件数(断減水の影響が100戸を超えるもの)				配水管の耐震化率 【算出式:配水管管路耐震管延長/市内配水管管路延長×100】				建設改良事業に係る発注執行率 【算出式:発注件数/事業予定件数×100】				
		単位		件		単位		%		単位		%		
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績	0	0	0		25.30	25.70	26.10	26.60	100	100	100	100
達成度	100%				108%				100%					

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	11.89
再任用	1.42
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.40
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	98,574	101,352	100,034		
	会計年度任用職員	5,482	5,044	5,042		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	104,056	106,396	105,076		
物件費計	1,137,448	1,320,947	1,017,039	1,729,860	58.8%	
歳出計	1,241,504	1,427,343	1,122,115			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	611,000	824,700	516,500	791,000	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	611,000	824,700	516,500	791,000	
一般財源（物件費に充当されるもの）	526,448	496,247	500,539	938,860		

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については、概ね想定通りであったが、他企業と競合する一部事業については、事業間調整により次年度繰越となった。このため、事業が早期に完了できるよう、他企業と調整を行い工程を検討する必要がある。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	配水支管の更新については、引き続き整備計画に基づき円滑な事業の実施に取り組む。また、他企業と競合する事業については、事前協議も含め綿密な工程調整を行い予定通り事業が完了できるよう取り組む。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 890

事務事業名称	上水道工務課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	上下水道部			課	上水道工務課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課の職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	所管事務を適正かつ迅速に執行するため、課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各種庶務事務の迅速かつ適切な処理、他部署との調整によって組織としての機能を効率的に発揮し、所管事務が円滑に執行できている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会等に対する調整及び交渉等 ・行政評価及び事業計画等に関する事務 ・局内外への照会・回答処理、事務引継ぎ事務及び公用車の点検、管理に関する事務 ・課の予算、決算に関する事務 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,570	8,134	9,374		
	会計年度任用職員	99	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,669	8,134	9,374		
物件費計	371	369	601	690	87.1%	
歳出計	10,040	8,503	9,975			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	371	369	601	690		

5. 総括的分析

総括的分析	事業実施に欠かせない水道積算システム機器更新や庁内関係部署からの照会回答事務等について、遅漏なく、適正に手続きを実施することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	各事業が円滑に実施できるよう、各種事務手続きを行う。